



寺岡えりか & 近江秀崇



デュオリサイタル

2014年
11月23日(日)
14:00 開演(13:30 開場)

HITOMIホール
(メニコン本社北側 ANNEXビル5F)

チケット: 全自由席
一般 ¥3,000
学生 ¥2,000

お問い合わせ: 090-6091-7591 (近江)
kurimo46@hotmail.com

ベートーヴェン:
「魔笛」の主題による12の変奏曲 作品66
チェロソナタ 第1番 へ長調 作品5-1

バラキレフ:
ポルカ 嬰へ短調、タランテラ ロ長調

ドヴォルザーク:
ロンドト短調 作品94
チェロ協奏曲 ロ短調 作品104



寺岡 えりか

東京生まれ。5歳でチェロを始め7歳の時に両親と共にアメリカに移住。カリフォルニアとニューヨークでアイリーン・シャープ女史に師事する。2003年にイエール大学を卒業後、ブダペストのリスト音楽院でマイクロシュ・ペレーニ氏に師事。同校修士課程修了。これまでにアンドラーシュ・シフ、デーネッシュ・ヴァーリオン、ヨーヨー・マ、フェリックス・ガリミアの各氏からも薫陶を受けている。

8歳で初のリサイタルを行い、翌年にはマサチューセッツ州のパイオニアバレエ・シンフォニーと協演。その後コロラドスプリングス・シンフォニー、ワシントン州ワラワラシンフォニー、ニューヨーク・セント・トーマスオーケストラなどと協演。独奏及び室内楽において、これまでにアメリカ各地をはじめドイツ、オーストリア、オランダ、イギリス、ハンガリー、日本で演奏活動を行っている。バロックから現代曲まで幅広いレパートリーを持ち、数々の

チェロ作品及び室内楽曲を初演してきた。2000年にはアーティスト・インターナショナル・オーディションに優勝し、カーネギーホールワイルリサイタルホールにおいてニューヨーク・デビューリサイタルを行った。2011年より二年間にわたって、ニューヨーク市のセント・ジョン・ディバイン大聖堂のコンサートシリーズに出演し、バッハの無伴奏チェロ組曲全曲を連続公演。2011年1月にはニューヨークでベートーヴェンのチェロ作品全曲の連続公演を行った。

使用楽器は、ジェームス・マッケインが1999年に製作したチェロ及びジョゼフ・クロスノフスキー製作の弓。



近江 秀崇

2001年、名古屋音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専修卒業。在学中、ピアノ専攻生演奏会、定期演奏会、第3回ピアノ協奏曲の夕べ、卒業演奏会に出演。2003年、同大学大学院音楽研究科器楽専攻修了。2003年～2006年、ハンガリー国立リスト音楽院に留学。留学中、ハンガリーのソンバトヘイ市にてバルトークセミナーに参加、ヴァーリオン・デーネシュ氏のクラスを受講。

第71回読売新人演奏会、第23回読売中部新人演奏会に出演。名古屋市文化振興事業団主催、第23回新進演奏家紹介コンサートオーディションにて優秀賞受賞、同コンサート出演。第11回、第12回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。第7回“長江杯”国際音楽コンクール一般の部A第5位。第1回カンデロ市国際音楽コンクール第2位(イタリア)。第2回グレン・グールド国際ピアノコンクール第3位(イタリア)。

第10回“万里の長城杯”国際音楽コンクール一般の部A第3位。第3回岐阜国際音楽祭コンクール大学一般の部文化人特別賞。2007年、2009年、電気文化会館ザ・コンサートホールにおいてソロリサイタルを開催。ピアノ協奏曲のソリストとして、NCM管弦楽団、海部交響楽団と共演。

現在、中京学院大学、東海学園大学にて講師を務める傍ら、名古屋市を中心にソロや伴奏等の演奏活動を行う。これまでに、ピアノを木村智穂、水本雄三、故・三浦洋一、レーティ・バラージュの各氏に、また室内楽をペレーニ・マイクロシュ氏に師事。



メニコンANNEXはメニコン本社の北側の建物です

JRでお越しの場合

千種駅地下改札口方面、5番出口より徒歩4分

地下鉄でお越しの場合

東山線:千種駅5番出口より、徒歩約4分。

桜通線:車道駅4番出口出ですぐ左折。徒歩で約7分。

お車でお越しの方

駐車場はございませんので、お近くのコインパーキングをご利用ください。(搬入の際はご相談ください。)

ホームページ: www.annex.menicon.co.jp